

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 一期一会	代表者	川上道子	法人・ 事業所 の特徴	一期一会は、この愛甲原で「住み慣れた地域で最後まで暮らしたい」を応援するため、地域福祉を展開しています。通所介護・小規模多機能型居宅介護・有料老人ホーム・居宅介護支援・配食サービス・生活支援サービス等を提供しつつ、地域に根ざしたサービスステーションとしての機能を持つ事業所を運営しています。地域密着サービスがめざす地域生活の継続支援と、事業所と地域との関係強化に取り組んでいます。					
事業所名	風の丘	管理者	山下貴子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人			1人		2人		8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を乗り切るため、自分たちのスキルや知識を高める研修を実施する。地域との関わりが少なくても、利用者・家族の立場に立った取り組みを継続するため、工夫しながら改善計画に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの感染予防対策の為、WEBによる職員研修を実施し1年間のカリキュラムに全員が参加し、知識等の習得に努めた。</li> <li>・利用者、家族の意向や体調を考慮しながら、柔軟に対応したが、感染対策の為、職員の対面での会議を厳選し、その他は書面会議を用いた為、事業所が目指す改善計画についての実行や周知が難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面だけの評価は難しいのですが、皆様よく頑張っていた事に感謝します。</li> <li>・12/13.17.1/12に実施されていて、コロナ禍で忙しい中記述もありきちんと取り組まれていると思います。</li> <li>・コロナ禍では、会議や研修参加にも十分な対策が必要な中、「できること」を取り組み実践されていることが伝わります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心に帰り、法人の成り立ち風の丘に求められているものについて、学び直す機会を持ち、風の丘職員として自分たちの業務に自信が持てる様スキルアップを図る。</li> <li>・感染予防策を取りながら、研修を生かした実践が出来る様、職員同士の意見交換できる場を増やしていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策について更に研究を進め、利用者・家族・地域にとって安心、安全な事業所環境づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防の対策について、順次国や県から発信される情報に基づいて、面会規制や時間制限を設けた緩和策を実施した。又、補助金を受け減圧装置（空気清浄機）を2台購入し、安全な事業所環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面会議であり、施設に入っていないのでわかりません。</li> <li>・いつもたずねやすい事業所です。コロナ禍で従来のようにはいかず、感染対策を継続していくためには項目内容とは逆行した対</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からの施設への来所制限があっても、ホームページに動画を取り入れて、施設内の様子をご家族や地域の皆様知って頂けるよう「風の丘・見えるか計画」に取り組む。</li> </ul>

		<p>づくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内でも季節を感じる事が出来る様、塗り絵や手作りの壁飾りを展示した。</li> </ul>	<p>策になることと思います。</p>	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においては事業所内を小さな地域と捉えて「風の丘通信」等を作成しているが、内容を見直し、地域へも向けた情報発信及び受信のツールとして利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産能大の学生さんの協力で「風の丘通信」を作成した。風の丘で過ごす様子をお伝え出来、利用者ご家族から喜ばれたが、地域向けへの情報の受発信について検討できなかった。</li> <li>・地域の公園ボランティアさんに隣地の公園整備について、地域の人や利用者がほっと一息付ける様、造作ついて要望を伝え、取り入れて頂いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の丘通信やホームページの紹介など情報発信されていると思いました。</li> <li>・顔見知りのスタッフさんは、とてもにこやかにあいさつされます。</li> <li>・地域の行事やイベントへの参加は、現状、困難かと思います。</li> <li>・「風の丘」さんは市内だけでなく県内でも知られている事業所だと思います。CoCo てらす等、地域に根差した取り組みが素晴らしいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はホームページと「一期一会ニュース」、「風の丘通信」の連動や、CoCo てらすへの掲示など法人の持つ広報機能の充実を図り、発信のみでなく受信についてのしくみも検討する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域へのかかわり方」は新型コロナの感染予防策を考えながら、地域包括支援センターや居宅のケアマネと連携を深め、必要なサービスを柔軟に提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域住民同士も集まらない状況の中、地域に出向いて本人の暮らしを支えるというより、地域包括支援センターや居宅のケアマネと連携の中で、地域で孤立し、支援が必要な方に対してサービスを提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援に困っている方に対して、包括から相談して登録に空きがあれば、対応して頂いた1年でした。</li> <li>・直接お会いできないので何とも言えませんが、皆様の取り組みに一生懸命なのには感心しています。</li> <li>・コロナ禍で行事やイベントがなく回答できませんでした。</li> <li>・コロナ禍で事業所内を一つの「地域」と捉え活動することが望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の丘を一つの地域と捉え、法人の廻りにあるネットワークを活用して、生活に楽しみが加わるよう支援していく。</li> <li>・在宅生活が維持できるよう、関係各所と連携して、個別支援計画を取り入れたサービス提供に努める。</li> </ul>

			ましく思います。その中でできるイベントや催事を継続的に実施していると思います。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の議案書や報告についてメンバーの皆様が意見や考えを出しやすいよう見直しを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策の為、年6回書面会議を実施。</li> <li>・顔合わせによる意見交換ができず残念だったが、寄せられた質問や意見に関しては、できる限り詳しく記述し、返信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面での限界がありますが、それでも議事録を拝見すると取り組んでいると思いました。</li> <li>・今年度も書面会議のみで、質疑応答が直にできずすれ違ったり、詳しい説明を伺うことが出来なかったりでした。早く対面で会議が開ける様、コロナの収束を祈るばかりです。</li> <li>・書面開催では、細かく状況説明がなされており、情報がよく伝わります。同封の意見書の内容にも真摯な回答が記載されており、改善に繋がっていると感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を確認しながら会議開催を目指す。</li> <li>・会議の開催場所については居住空間を避けた場所を検討する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの予防策については周知徹底を図っているが、防災訓練にも取り入れる。</li> <li>・又、新型コロナ発生時を想定した具体的訓練を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の防災訓練時に、新型コロナの予防策として、防災頭巾とマスクの着用、距離を取った避難行動を実施。</li> <li>・発生時のシミュレーション訓練として、1階と2階の切り分けによる職員の動き確認や感染防御服の着脱等実施。</li> <li>・防災備蓄に感染防御グッズを追加し備蓄。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もコロナの為書面であり、わからないを選択しました。</li> <li>・コロナ禍を想定した防災訓練の実施内容は把握できていないが、災害時は頼りになる事業所であり、地域にとって安心な場所だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にコロナの陽性が判明して、シミュレーション訓練では見えなかった部分や反省点を生かして、事業継続計画（BCP）を作成する。</li> </ul>